



災後5年 絵本の力に 出会う春。

東日本大震災の被災地である名取市閑上、南三陸町志津川から生まれた2冊の絵本。
そこには、未来に向けた大きな役割とメッセージが込められています。

撮影地 / 上山八幡宮(南三陸町志津川)

「マンホールのステージ」 横尾和義

朗読 渡辺祥子

「つなみのえほん」 工藤真弓

宮城県の被災地で生まれた2冊の絵本

マンホールのステージと つなみのえほん展 〈入場無料〉

◆ 3月9日(水)～14日(月) ◆ 藤崎本館8階 グリーンルーム
午前10時～午後7時30分 < 最終日 午後4時閉場 >

◇主催/3.11を語りつく会 ◇後援/名取市、南三陸町、名取市教育委員会、南三陸町教育委員会、河北新報社、エフエムなとり ◇協力/上山八幡宮、認定NPO法人地球のステージ、一般社団法人アート・インクルージョン

FUJISAKI

藤崎百貨店

〒980-8652 仙台市青葉区一番町三丁目2の17
☎022-261-5111
<http://www.fujisaki.co.jp>

マンホールのステージ(文：横尾和義 絵：てるいひろえ)

◆物語の舞台：名取市関上

山形県在住の作家チームが、震災から4年が経過した2015年初頭、名取市関上で出会った人物との交流の中で生まれた絵本。震災後に生まれた子どもたち、そしてこれから生まれてくる子どもたちのために、幼少期の子どもたちへの伝書として相応しい「絵本」というメディアに着目し制作を施し、2015年8月に自費出版。当時の記憶や、地震、津波に対する防災意識の啓発と教訓の伝書として、全国レベルで報道により紹介され、各地で朗読、読み聞かせの輪が広がっている。



- B5冊子40ページ、フルカラー、定価：税込1,080円
- 初版発行日：2015年8月11日

つなみのえほん(文・絵：工藤真弓)

◆物語の舞台：南三陸町志津川

大地震が来たら津波もくるよ。なにも持たずに逃げようね。ひとりひとり、もっと高いところに！著者は地元で鎌倉初期から続く神社である上山八幡宮の神職に従事。五行歌人としての活動でも知られる。絵本は、5歳になる息子や家族とともに体験した東日本大震災の日の出来事を避難所生活の日常の中で描き、紙芝居として伝承するために制作された。現在も地元では、黙とうを捧げてから紙芝居を語りつぐ活動を続けている。



- A4冊子46ページ、フルカラー、定価：税込1,296円
- 初版発行日：2012年5月25日

絵本朗読&トークイベント

3月9日(水) 午前11時30分～

◆渡辺祥子 朗読コンサート
～未来へのメッセージ～

共演：佐藤正隆(ギター)
(朗読：「マンホールのステージ」「つなみのえほん」・他)

◇トークゲスト：横尾和義
(「マンホールのステージ」原作者)



横尾和義

3月12日(土) ①午前11時30分～ ②午後2時30分～

◆朗読：「マンホールのステージ」

◇トークゲスト：松崎江里子
(「マンホールのステージ」主人公モデル)



松崎江里子

3月13日(日) ①午前11時30分～ ②午後2時30分～

◆朗読：「つなみのえほん」

◇トークゲスト：工藤真弓
(「つなみのえほん」作者)



工藤真弓

◇1991年 フリーアナウンサーとして独立。仙台を拠点にラジオパーソナリティー、CMナレーター、司会など幅広く活動する傍ら、長年にわたりプロのアナウンサーを養成。

◇1998年 朗読家としての活動を開始。活動の場を全国に広げる。ホールでの舞台公演の他、客船「飛鳥II」世界一周クルーズ船上、相田みつを美術館、富弘美術館等での作品朗読、学校や企業、地域おこしのアートプロジェクトとジョイントした朗読コンサートなど、幅広い活動を展開。朗読が心を与える影響(セラピー効果)に注目し、心癒し、力を与える言葉や物語を美しい日本語の響きにのせて紹介する他、講演や執筆で言葉の力を届ける活動を手掛ける。

◇2011年3月 東日本大震災時に仙台で被災した後、被災地と支援者を結ぶ活動も積極的に行い、2014年8月 エッセイ集『3.11からのことづて～災後を生きる人たちの言葉～』(TOブックス)出版。

朗読：渡辺祥子



映画上映会

3月12日(土)・13日(日) 午後1時～午後2時15分

名取市関上で制作された映画「ふしぎな石」の上映会を開催します。

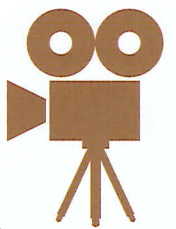
映画「ふしぎな石」とは？

東日本大震災による津波で大きな被害を受けた名取市関上。「震災のこと、いのちの大切さをきちんと伝えたい」そんな思いを抱く小学生とともに、認定NPO法人地球のステージ制作の映画「ふしぎな石」(フィクション)が誕生。2013年5月に関上小学のグラウンドで撮影開始。関上に暮らしていた大人のみなさんにも協力していただき、あの日、何が起きたのか、人々はどう感じ今を生きているのか、子どもたちと一緒に考え、伝えられる内容になっています。震災のことを忘れても、震災で学んだこと、「いのちの大切さ」は忘れない、そんな思いを込めた作品です。

◇協力：認定NPO法人地球のステージ



©認定NPO法人地球のステージ



Workshop

3月12日(土)・13日(日) 各日午前11時～午後4時

～2億5千年の時を越えて～
おがつ
奇跡の雄勝石に
絵を描いてみよう!

各日
50名様
限り



●参加費 お一人様
税込1,000円

●絵を描いた雄勝石は、
キーホルダーにして
お渡しいたします。

◇協力：一般社団法人アート・インクルージョン、雄勝石絵教室実行委員会・齋藤玄昌賞

※ワークショップの収益金は、東日本大震災の孤児を支援する「認定特定非営利法人 JETO みやぎ」への寄付いたします。